

令和7年度 自彊小学校 前期学校評価結果

自彊小学校では、学校教育目標「自らつとめ励む子」を実現するために、本年度は「日本一笑顔があふれる自彊小」を重点目標として取り組んでいます。この重点目標に向けた取組を通して、「主体性」「コミュニケーション力」「自律心」「協働力」の資質・能力の育成を目指しています。

7月に児童及び保護者の皆様に御協力いただいた学校評価アンケートの結果を報告いたします。この結果を今後の改善に生かし、本校の教育活動がより良いものになるよう努めます。

◎選択式項目について

質問項目	児童	保護者
学校が楽しい。	88%	89%
学校に信頼できる先生がいる。	94%	87%
気持ちのよいあいさつができる。	87%	70%
相手を傷つけない言葉遣いができている。	89%	80%
学習した内容が理解できている。	89%	
生活の中で、自分から課題を見つけて解決しようとすることができる。	85%	61%
やりたいことよりも、やるべきことを優先することができる。	86%	45%
教室が自分にとって居心地のよい場所になっている。	84%	86%
先生や友達は、自分のよさを知ってくれている。	89%	93%

※調査項目の中から抜粋。表の数値(%)は肯定的な評価の割合をあらわしています。

今回のアンケート結果から、児童と保護者の皆様の間で学校生活に対する認識に差があることが明らかになりました。特に「生活の中で、自分から課題を見つけて解決しようとすることができる」や「やりたいことよりやるべきことを優先すること」といった項目では、児童の自己評価と保護者の皆様の評価に大きな差が見られました。これは、学校での学びや活動が、家庭での生活と結びつき、子供たちの自律的な行動として十分に発揮されていないことが一つの要因として考えられます。また、学習理解については、子供たちの学びの様子をより知るために、学校と家庭で連携して取り組んでいく必要があると考えております。

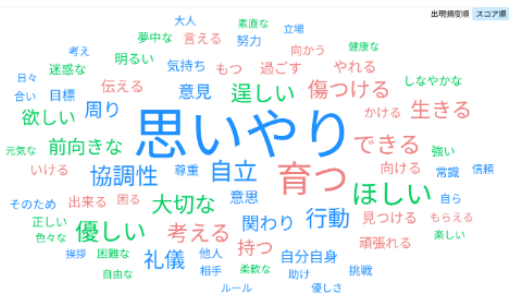
2学期以降も、児童や保護者の皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいります。また、学校での学びが家庭でも発揮できるよう、「授業改善」を中心に、安心・安全で楽しく、多様性が認められる教育活動を展開し、子供たちの成長につなげます。

◎期待する児童像に関する項目について

児童と保護者の皆様の願いには、共通した傾向があることがわかりました。数多くの御意見の中で、「思いやり」という言葉が最も多く見られ、その他「優しさ」「人の気持ちをわかる」といった、心の豊かさへの期待が感じられます。また、「自立」「挑戦」など、自律心や主体性に関する御意見も多く、変化の激しい社会を生き抜くための「生きる力」を願っていることもわかりました。

学校としましては、これらの保護者の皆様の御期待を大切にし、子供たちの可能性を信じ、日々の教育活動を通じて「思いやり」と「生きる力」を育ててまいります。

【AIテキストマイニングによる分析】



◎保護者の皆様からの御意見について

保護者の皆様から学校の教育活動に関する多くの御意見をいただきました。これらの御意見を今後の教育活動がより充実したものになるよう活かしてまいります。

【授業について】

授業の進め方、特に「ICTを活用した授業」や「主体性を重視した教育」について、多数の御意見をいただきました。

「パソコンばかりでなくノートや計画帳も使ってほしい」「自由進度学習で個人差が大きくなると感じる」といった具体的な御意見から、保護者の皆様の「基礎学力の定着」や「個々へのきめ細かな支援」を願う切実な思いを深く受け止めております。

本校では、子供が自ら課題を見つけ、その解決に向けて学ぶ力を育むことを大切にしています。一人ひとりの実態をよく見届け、教員が丁寧に指導することで、すべての子供が一定の目標に到達できるよう努めてまいります。

【家庭学習について】

家庭学習について、「自主性＝やらなくてもよい」と考えてしまうのではないか、「基礎学力が定着しているか不安」といった御意見を多数頂戴しました。

本校が推進する家庭学習は、子供が自ら学び、主体的に取り組む姿勢を育むことをねらいとしています。特に低学年においては、学習習慣が身につくよう、担任が一人ひとりに寄り添い、家庭と連携しながら「何を、どのように学ぶか」を具体的に示しています。また、保護者の皆様が御心配されている基礎学力については、ドリルやノートを活用した反復練習も授業と家庭学習の両面から定着を図っています。

【安心できる環境づくりについて】

子供たちの安全や人間関係、そして先生との関係性について、多くの貴重な御意見をいただきました。「挨拶ができる子が少ない」「クラスのトラブルが多い」といった御意見から、子供たちが安心して学校生活を送れる環境を願う保護者の皆様の思いを真摯に受け止めております。

本校は、子供たちが「学校が楽しい」「先生が好き」と感じ、安心して過ごせる場所であることを何よりも大切にしています。そのために、先生方は日々の児童との関わりの中で、一人ひとりの良い点を見つけ、積極的に称賛するよう努めており、この取り組みが、子供たちの自己肯定感を育むことにつながると考えています。

子供たちが自分を大切に、他者を尊重できる人間に育つためには、学校と家庭が連携して指導していくことが不可欠です。ぜひ御家庭でも、挨拶や言葉遣い、そして「自分を大切に、周りの人も大切にする」ことについて、繰り返しお声がけいただけますようお願い申し上げます。

【学校からの情報発信について】

「子供からの連絡だけでは不安がある」「持ち物や予定を事前に知りたい」といった御意見がある一方で、「活動の様子が把握できて安心する」というありがたい御言葉も頂戴しました。

本校では、学年だよりや学校ホームページなどを通して、学校の様子や子供たちの活動、そして重要な連絡事項をお伝えしております。特に、学年やクラスでの準備物等については、保護者の皆様が安心して子供たちを送り出せるよう、今後さらに事前のお知らせを徹底してまいります。

【教育計画について】

「運動会の種目選定」や「土曜授業の振替日」といった具体的な御意見から、子供たちにとってより良い学校生活を願う保護者の皆様の思いを受け止め、日々の行事を計画しております。運動会をはじめとする各行事については、子供たち一人ひとりが主体的に考え、協力し合う中で、目標に向かって努力する経験を大切にしています。

土曜日に行われる参観日や行事については、保護者の皆様の御負担も考慮し、実施日や振替休業日について検討していきます。